



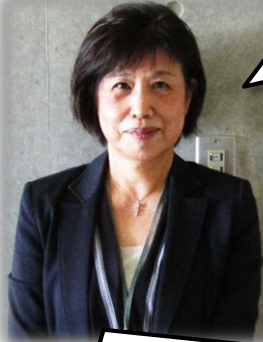
「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

## 第2回 臨時的任用教員研修

令和3年4月30日（金）実施

講義・演習「新学習指導要領とこれからの授業づくり」

講師：高知市教育委員会 学校教育課 永野 由美子 学力向上推進員



「どうして?」「なぜ?」「だってよ!」を大切に。  
論理・探究のある授業を目指しましょう!

全部チェックが入ったら  
大幅な授業改善を!  
1~3個の場合は、チェックが  
入っていない項目を伸ばそう!

### 授業を振り返ってみましょう

- 一問一答で、限られた子どもだけで授業が進んでいる
- 教師がしゃべり過ぎて、子どもが学習の主体者になっていない
- どう考えればよいか分からず困っている子どもがいる
- 子どもの考えをどう深めていけばよいか分からない

授業づくりで意識してほしいのは、「対話によって考えを深める場面を授業のどこに設定するか」ということ

### 「対話的な学び」の三つのポイント

#### 考えをもつ

算数科の授業で  
考えてみましょう

✗ 自由に子どもにまかせてしまう  
さあ、自分で考えてみましょう

○ 見通しをもたせて  
やることを明確にする

- ① 見通しをもたせる…既習の活用、既習との比較
- ② 数学的活動⇒操作活動・ノート

…試行錯誤，考えを整理する，学びを残す

#### 交流する力

✗ 好きに話していいよ～

○ 話し方を教える

- ① 話し方…順序よく話す方法，図を使って話す方法など
- ② 考え方…比較，選択，分類，取り出し(揃える)
- ③ 相手理解…相手の話が分かってこそ交流する力になる

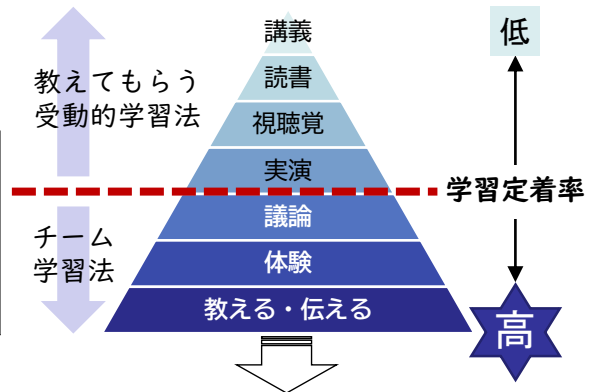
#### 表現する力

例：算数科

- ① 数学的な見方・考え方を意識する  
…何に注目して，どう考えていくか
- ② 表現方法…低学年⇒ブロック，おはじき，具体物など  
高学年⇒テープ図，線分図，数直線など
- ③ 説明言語を鍛える…数や式，図と言葉をつなぐ

### なぜ対話なのか

ラーニングピラミッドから考える



対話のある授業の学習定着率が高い

### 生徒指導の3機能を 授業に生かす

- ① 自己決定の場を与える  
考えをもつ・選択
- ② 自己存在感を与える  
子どもを褒める・評価
- ③ 共感的人間関係を育成する  
相手の考えの理解

授業に「生徒指導の3機能」を位置付けていくことが大きなポイントになります!



### 【受講者の感想】

・ 授業中，子ども同士で教える・伝えることができるような授業にしていけば，理解を深めることができ，学習定着率も上がってくると思う。子どもの好奇心を大切に，想像力を働かせて学習につなげていける授業を目指したい。

・ 「教科の好き・嫌いをつくっているのは教師の責任」という話があり，子どもたちが学ぼうとする意欲を自分が止めてしまうこともありうるのだと感じた。教科内容を教える教師主導の授業ではなく，生徒の好奇心，学びたいという姿勢を十分に生かした活動を行っていきたい。互いに教え合う，語り合うといった対話的な活動を意識していきたい。



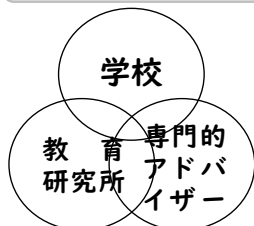
# 「あったか学級づくりアドバイザー派遣事業」についてのお知らせ

目的

学級経営上の諸問題の改善を図るために、学級づくりの充実を積極的に図り、全ての児童生徒が集団や学級の一員として自己実現を図ることのできる学級づくりを進めることを目的として、要望のあった学校に対し、あったか学級づくりアドバイザーを派遣する。



## アドバイザー派遣事業の概要



ルールとリレーション（人間関係）の確立されたあたたかい学級づくりを目指して、アドバイザーが授業を参観し、担任の直面している悩みに、教育的な視点から具体的助言を行うとともに、担任を支え、共に学び合う学年や学校体制づくりを目指して管理職等と話し合う。

## アドバイザー派遣の必要性

- 学級経営に困難を感じて、苦戦している学級がある。
- 学級崩壊はどの年齢層の教員にも起こっている状況がある。
- 人間関係づくりを推進するため、経験則にとどまらず、専門的な知見によるアドバイスが求められている。
- 発達障害等のある児童生徒への適切な支援や手立てを行うことが十分にできず、学級の人間関係づくりに苦戦している状況がある。

## 《あったか学級づくりアドバイザー派遣事業派遣の流れ》

① 学級改善のニーズがある校長から教育研究所への依頼

○ 電話及び派遣依頼書



※ 原則として1校当たり2回1セットの派遣

② 学級の状態把握のため教育研究所が学校訪問【Research 実態把握】

○ 依頼内容に応じて教育相談班・教育支援センター・特別支援教育班・教職員研修班が対応



③ 依頼内容に応じたアドバイザーの決定



④ アドバイザーの派遣・改善に向けての話合い  
【Plan 計画】  
【Do 実践】  
【Check 評価】

派遣1回目・2回目  
授業参観と事後の話合い  
(管理職の参加)

○ 指導主事等が同行



令和3年度  
アドバイザーの先生方  
高知大学

是永かな子 先生  
松本 秀彦 先生  
岡田 倫代 先生  
福住 紀明 先生  
高知工科大学  
村上 達也 先生



学級経営にお困りでは  
ありませんか？

〔アドバイザーからの具体的な助言例〕  
☞ 机間指導をして子どものノートをよく見ていたが、さらに先生が子どもの机に触れてOKサインを送ったり、ハンドサインを送ったりして、肯定的なメッセージを伝えていくとよい。

ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。